

人事管理 15 の科学的手法

—さらに精度・効果・効率を高め、利益を生み出すノウハウ—

wealth share(株) 代表取締役社長 鈴木智之

■人事部門への科学的アプローチに注目

“思い”と“思い込み”は全く別ものだ。経営理念、人材ビジョン、社風などを考えるとき、人の“思い”を抜きには成り立たない。しかし、単なる思い込みが優先すると、肝心の“思い”の実現は妨げられる可能性がある。例えば「あるべき人材像」を打ち出しても面接と適性検査で矛盾する採用活動をしていれば、入社後の活躍が期待通りにいかななくて当然ともいえる。また、「教育が大事」とのポリシーを掲げても、対象者、内容、費用の絞り込みが適切でなく、有効な教育投資になっていなければ、ポリシーは空文に等しい。いったい自社は妥当にして効果的な人事施策を展開しているのか？ —実

は、文系の極ともいえる人事部門こそ、理系の手法を取り入れ検証する余地が大きい。ただ、いきなり数式を見せられても戸惑う。そこで本稿ではできる限り人事の実務に沿い、かつ業績効果の高いテーマで誌面が構成できるよう、人事分野および科学的アプローチ両面で秀でた知見をお持ちの専門家に整理をお願いした。

思い込みや誤解を排し、その結果、採用、教育の精度が向上し、業績面での寄与が数値で確認できれば、取り組みにも確信が持てるようになるはずだ。科学的手法は従来路線からの飛躍の足がかりとして今後注目されるポイントと思われる。
(編集部)

Contents

- No.1** 採用基準の科学① **Key** : 相関係数
「採用基準」と「入社後の成績」の関係を見る
- No.2** 採用基準の科学② **Key** : 回帰係数
「入社後の成績」と関係の深い「採用基準」を見極める
- No.3** 採用基準の科学③ **Key** : 構成概念
本当に計測したい能力を確認する
- No.4** 教育研修の科学① **Key** : 回帰直線
テスト成績を把握し、研修の投資効果を高める
- No.5** 教育研修の科学② **Key** : 決定係数
業績向上効果の見込める教育投資を判断する
- No.6** 意識・風土調査の科学① **Key** : 変数分解
業績に貢献する調査内容か否かを確認する
- No.7** 意識・風土調査の科学② **Key** : 平均値と決定係数の関係
改善効果の高い施策をあぶり出す

- No.8** 意識・風土調査の科学③ **Key** : t検定
部署間・階層間での比較で問題点把握の精度を高める
- No.9** 評価・考課の科学 **Key** : 因子分析
評価項目の信頼性を確認する
- No.10** 組織編成の科学 **Key** : 判別分析
“似た者同士”を見つけ、配属に活かす
- No.11** 人事投資と株式価値の科学 **Key** : イベントスタディ
人的資源投資が株価へ与える影響を把握する
- No.12** リーダー選抜の科学① **Key** : マネジャーとリーダー
最適な育成対象者と育成策を見極める
- No.13** リーダー選抜の科学② **Key** : 米国型と欧州型
行動(WHAT)に偏らず、動機(WHY)を見て人材を選抜する
- No.14** リーダー選抜の科学③ **Key** : 動機類型
心理的類型からリーダーの素質を見抜く
- No.15** 人事の科学化に向けたアクションプラン
スタートラインに立つための3つのステップ

■鈴木智之 (すずきともゆき)

慶応義塾大学総合政策学部卒、東京工業大学大学院社会理工学研究科修了。アクセンチュア(株)、エム・アイ・アソシエイツ(株)を経て2006年より現職。心理学・統計学・教育学を活用した企業人事、マーケティング、顧客サービス、介護・福祉、学校教育、金融に関する商品開発とサービス提供を展開。公益財団法人、社団法人、行政機関などで人事分野の講師を歴任。近著に『景気に左右されない力』(ファーストプレス)、『利益を生み出す人事改革 7つの法則 ~人事科学の新たなグローバルスタンダード』(角川学芸出版)がある。

■wealth share(株)

●住所：〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1丁目12-1 渋谷マークシティW 22F

●ホームページ：http://www.wealthshare.co.jp/ ●問い合わせ先：info@wealthshare.co.jp

